

令和6年度

年 報

福井市立郷土歴史博物館

令和6年度事業報告

I 展示	2
1 企画展示室	2
2 平常展示 松平家史料展示室	4
3 平常展示 館蔵品ギャラリー	6
II 教育普及	7
1 講座・体験教室・ワークショップ	7
2 学校教育(小中学校)との連携	8
3 高校・大学等との連携	10
4 ボランティアとの連携	10
III 調査研究	11
1 調査	11
2 研究成果等の発表	12
3 専門的知見の提供	14
IV 資料の保存・活用	15
1 資料の収集(寄贈・寄託)	15
2 資料の修理等	16
3 展示環境維持	17
4 資料の特別利用	17
V 利用状況	18
VI 組 織	19

I 展示

1 企画展示室

(1) 春季特別展「越前百万石ものがたり～福井藩祖・結城秀康～」

内 容 福井藩祖・結城秀康は徳川家康の次男として生まれ、羽柴(豊臣)秀吉の養子となり、さらに関東の名族・結城家を継承した人物だった。関ヶ原の戦いに際し、秀康は関東周辺の徳川家に味方しない勢力を抑え、その功績が評価されて越前一国を支配する大大名となり、北庄城(福井城)と城下町を築くなど現代の福井市街地の原形をつくりあげた。また、のちに秀康の子どもたちも大名となり、親藩の名門として最盛期には一族全体で百万石を超える領地を支配した。本展では多くの資料をもとに後世にも影響を与えた秀康の生涯について紹介した。



会 期 3月20日(水・祝)～5月6日(月・休) 計47日

会 場 企画展示室

主 催 福井市立郷土歴史博物館

共 催 福井新聞社

展示資料 48件(展示目録)

観覧者数 18,433人

関連事業 ■講座「福井藩祖・結城秀康とその時代」 4月14日(日) 参加者 107人

■ギャラリートーク 3月24日(日)、4月21日(日)、5月5日(日)

参加者 のべ413人

印刷物 ■ポスター B2判 ■チラシ A4判両面

■展示解説シート A3判両面

■解説図録 A4判 90頁

(2) 夏季特別展「橋本左内と横井小楠」

内 容 激動の幕末期において、福井藩を代表する論客・思想家として活躍した橋本左内と横井小楠について、近年確認された左内に関する新資料や、熊本で大切に保管されている小楠ゆかりの貴重資料を多数展示し、福井における両“先生”の実像と軌跡に迫った。



会 期 7月20日(土)～9月1日(日) 計44日

会 場 企画展示室

主 催 福井市立郷土歴史博物館

共 催 福井新聞社
 展示資料 77 件(展示目録)
 観覧者数 7,304 人
 関連事業 ■学芸員トークセッション 8月3日(土) 参加者 71 人
 ■見どころ講座 8月10日(土)、17日(土) 参加者 計 71 人
 ■ギャラリートーク 7月28日(日)、8月31日(土) 参加者 計 82 人
 印刷物 ■ポスター B2判 ■チラシ A4判両面
 ■展示解説シート A3判両面
 ■解説図録 A4判 136 頁

(3) 秋季特別展「鉄の名工 越前明珍」

内 容 越前明珍をはじめ諸国の工人が手がけた「自在置物」、
 また魚鱗札を用いた「魚鱗の具足」、さらに明珍ほか未
 だあまり名を知られぬ越前の鍛冶の作品を一堂に集め、
 江戸時代の金属加工技術の粋と、その中で確かな位置を
 占めた越前明珍の軌跡を追った。



会 期 10月19日(土)～12月1日(日) 計 44 日

会 場 企画展示室

主 催 福井市立郷土歴史博物館

共 催 福井新聞社

展示資料 65 件(展示目録)

観覧者数 11,534 人

関連事業 ■見どころ講座 10月26日(土) 参加者 26 人
 ■ギャラリートーク 会期中の毎週日曜日 参加者 計 322 人
 ■ワークショップ 「魚鱗具足をペーパークラフトで再現！」
 11月16日(土) 参加者 10 人

印刷物 ■ポスター B2判 ■チラシ A4判両面

■展示解説シート A3判両面

■解説図録 A4判 90 頁

(4) 冬季特別陳列「天然痘に挑んだ男 笠原良策」

内 容 死の病とされた天然痘を予防する「種痘」の導入に尽
 力した福井出身の町医者笠原良策(白翁、1809～80)の
 生涯を描いた映画「雪の花ーともに在りてー」の公開
 を記念し、映画制作の参考資料となった良策の所用品
 (当館蔵)を一堂に展示した。



会 期 1月24日(金)～3月16日(日) 計 44 日

会 場 企画展示室

主 催 福井市立郷土歴史博物館
展示資料 28 件(展示目録)
観覧者数 3,183 人
関連事業 ■ギャラリートーク 1月25日(土)、2月22日(土)、3月15日(土)
参加者 計93人
印刷物 ■ポスター B2判 ■チラシ A4判片面

2 平常展示 松平家史料展示室

(1)企画展「日本画家 島田雪谷・墨仙親子」

内 容 松平春嶽が絵の才能を愛した福井藩士島田雪谷と、その子で橋本左内肖像画の作者として知られる墨仙の作品を紹介した。
会 期 3月16日(土)～5月6日(月・休) 計51日
展示資料 15件(展示目録)
観覧者数 8,381人
関連事業 ■ギャラリートーク 4月27日(土) 参加者 25人
印刷物 ■展示解説シート A4判両面

(2)企画展「子どものきもの ～健やかな成長を願う～」

内 容 江戸時代から昭和時代にかけて、越前松平家の子女が着用した子どものきものを紹介した。
会 期 5月11日(土)～7月7日(日) 計58日
展示資料 27件(展示目録)
観覧者数 4,306人
関連事業 ■ギャラリートーク 5月19日(日)、6月30日(日) 参加者 計38人
印刷物 ■展示解説シート A4判両面

(3)夏季特別展関連展示「修復完成！橋本左内の書簡集」

内 容 クラウドファンディングで修理した資料を中心に橋本左内関連の書簡を紹介した。
会 期 7月12日(金)～9月1日(日) 計52日
展示資料 18件(展示目録)
観覧者数 4,206人
関連事業 ■ギャラリートーク 7月13日(土)、27日(土)、8月24日(土)
参加者 計50人
印刷物 ■展示解説シート A4判両面

(4)企画展「ほとけの姿を読み解く」

内 容 仏像や仏画に表現されるほとけの姿は、何を基にして描かれ、何を表現しているのかを、当館に収蔵される日本とチベットの仏教美術を読み解きながら解説した。

会 期 9月6日(金)～10月14日(日) 計39日

展示資料 19件(展示目録)

観覧者数 3,839人

関連事業 ■見どころ講座 10月5日(土) 参加者60人

■ギャラリートーク 9月7日(土)、29日(日) 参加者 計39人

印刷物 ■展示解説シート A4判両面

(5)企画展「城下町福井と九十九橋」

内 容 城下町福井(北庄・福井)の成り立ちと構成、城下を流れる足羽川に架けられている奇橋「九十九橋」について、絵図や絵画、古文書や記録などを展示した。

会 期 10月19日(土)～12月8日(日) 計51日

展示資料 28件(展示目録)

観覧者数 7,014人

関連事業 ■見どころ講座 11月9日(土) 参加者14人

■ギャラリートーク 10月26日(土)、11月30日(土) 参加者 計52人

印刷物 ■展示解説シート A3判両面

(6)企画展「日清・日露の戦争と福井」

内 容 多くの国民が動員された日清・日露の戦争について、福井との関わりを視点に紹介した。

会 期 12月13日(金)～令和7年2月24日(日) 計62日

展示資料 29件(展示目録)

観覧者数 3,542人

関連事業 ■記念講演会「日露戦争の記憶と福井県」

講師 福井工業高等専門学校 一般科目教室(社会)助教 木村 美幸 氏
1月18日(土) 参加者 53人

■ギャラリートーク 12月21日(土)、2月8日(土) 参加者 計36人

印刷物 ■展示解説シート A3判両面

(7)企画展「松平家の世界 ～徳川の世に繁栄した大族～」

内 容 松平の名字を名乗る大名の筆頭格であった福井藩主越前松平家をはじめとする江戸時代の松平家について紹介した。

会 期 3月1日(土)～4月20日(日) 計48日

展示資料 31件(展示目録)

観覧者数 2,331人(令和6年度分)

関連事業 ■ギャラリートーク 3月20日(木・祝) 参加者 18人

印刷物 ■展示解説シート A4判両面

3 平常展示 館蔵品ギャラリー

(1) 「新たにお迎え！松平春嶽の書」

内 容 令和5年までに郷土歴史博物館が新たに収蔵した、16代藩主松平春嶽直筆の書5点を初公開した。

会 期 3月16日(土)～5月6日(月・休) 計51日

展示資料 5件

観覧者数 8,381人

(2) 「重文公開！朝倉孝景・義景像」

内 容 一乗谷を治めた戦国大名、朝倉孝景(敏景)と義景の肖像画(重要文化財)を特別公開した。

会 期 5月11日(土)～7月7日(日) 計58日

展示資料 2件

観覧者数 4,403人

(3) 夏季特別展関連展示「修復完成！橋本左内の書簡集」第2会場

(4) 「サムライ、新時代を生きる」

内 容 近年寄贈された旧福井藩士家の資料を中心に、明治の世を生きた士族たちについて紹介した。

会 期 9月6日(金)～10月14日(月・祝) 計39日

展示資料 6件

観覧者数 3,839人

(5) 「九十九橋北詰の豪商 駒屋と福井藩札」

内 容 九十九橋北詰に店を構えた豪商「駒屋」は、福井藩札の札元でもあった。展示資料を通して、駒屋と九十九橋や福井藩札の関係を紹介した。

会 期 10月19日(土)～12月8日(日) 計51日

展示資料 4件

観覧者数 7,014人

(6) 「発掘された福井城下のやきもの」

内 容 福井城跡の発掘調査により出土した多彩なやきものを紹介した。

会 期 12月13日(金)～令和7年2月24日(月・祝) 計62日

展示資料 40件

観覧者数 3,542人

(7) 「女性と刀」

内 容 越前松平家の女性所用と伝わる刀剣類をもとに、女性と刀剣とのかかわりについて

て紹介した。

会 期 3月1日(土)~4月20日(日) 計51日
展示資料 4件
観覧者数 2,331人(令和6年度分)

Ⅱ 教育普及

1 講座・体験教室・ワークショップ

(1)夏休み歴史体験教室

■ワークショップ『紋切り』うちわをつくろう！」

8月4日(日)、18日(日) 参加者 計18人

■ワークショップ「まが玉をつくろう！」

8月7日(水)、14日(水)、21日(水)、28日(水) 参加者 計40人

■ワークショップ「三角縁神獣鏡をつくろう！」

8月11日(日)、12日(月・祝) 参加者 計30人

■ワークショップ『藩札』と『和同開珎』をつくろう！」

8月25日(日) 参加者 18人

(2)三角縁神獣鏡チョコ作りワークショップ

古墳時代の鏡「三角縁神獣鏡」の食品用シリコン鑄型を使って同形同寸のチョコレプリカを作成しながら、古墳時代の銅鏡や鑄造技術などについてレクチャーした。

■令和7年2月16日(日)、3月8日(土) 各日3回 参加者 計80人

(3)連続講座「やさしい仏像のみかた」

■第1回「仏像入門」 令和7年3月16日(日) 参加者 57名

■第2回「仏教の伝来と仏像」 令和7年3月30日(日) 参加者 45名

(4)へんしん越前屋

福井藩の参勤交代「大名行列」や福井城下の正月行事「馬威し」、江戸時代の鎧兜のレプリカなどをテーマに、昔の衣装を着るへんしん体験を実施。特別展開催中や市内小学校の春休み・夏休み・冬休み期間中の土日祝日の午後に開催している。

①「大名行列」にへんしん！ 参加者 計435人

②「馬威し」にへんしん！ 今年度は実施せず

③「よろいかぶと」にへんしん！参加者 計21人

春・秋の特別展期間の特定日に開催

2 学校教育(小中学校)との連携

(1)活用検討委員会

児童生徒の学習効果の向上を目指し、学校と郷土歴史博物館が、相互に情報や意見を交換し、協力して博物館を利用した学習活動を進めるための委員会を開催している。

【委員会構成】

委員 木田小学校 教諭 飯田千晶 大東中学校 教諭 土成永侑
森田中学校 教諭 中林光浩 明倫中学校 教諭 和中律英
清明小学校 教諭 杉本直也 学校教育課 主幹 柳生敏明
事務局 松村知也、山田裕輝、中西健太

■第1回 7月29日

議題 ・令和6年度上半期の学校団体利用状況について
・「橋本左内レガシー継承プロジェクト」の普及事業について
・学校部活動の地域移行について
・令和6年度下半期の催事について

■第2回 令和7年3月25日

議題 ・令和6年度全体の学校団体利用状況について
・「橋本左内レガシー継承プロジェクト」の普及事業について
・令和7年度の催事について

(2)職場体験学習の受け入れ

■藤島中学校 10月24日(木)、25日(金)

■進明中学校 11月13日(水)、14日(木)

(3)郷土史探求学習への協力

■国見中学校 ふるさと探訪 小丹生町春日神社見学(国見公民館少年教育・福井学事業)

5月24日 講師 藤川明宏

■至民中学校 出張体験講座「紋切りうちわをつくろう！」

9月14日 講師 藤原千穂、佐々木佳美

■鷹巣中学校 立志式事前学習

10月18日 講師 山田裕輝

■足羽中学校 立志式事前学習

11月22日 講師 藤原千穂、佐々木佳美、山田裕輝

■福井工業大学附属福井中学校 元服式事前学習

12月12日 講師 藤原千穂

■杉坂小中学校 立志式事前学習

令和7年2月21日 講師 山田裕輝

(5)小中学校利用実績

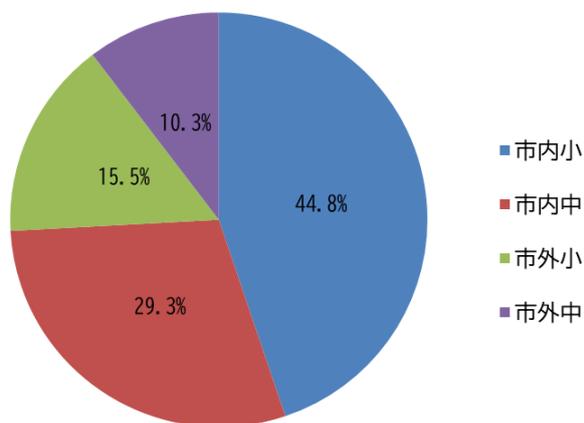
<月別利用者数の推移>

令和4年度(2022)				令和5年度(2023)				令和6年度(2024)			
(人数:のべ利用者数)				(人数:のべ利用者数)				(人数:のべ利用者数)			
	中学生	小学生	合計		中学生	小学生	合計		中学生	小学生	合計
4月	22	0	22	4月	0	0	0	4月	17	21	38
5月	124	243	367	5月	39	154	193	5月	118	197	315
6月	150	497	647	6月	25	460	485	6月	20	428	448
7月	5	187	192	7月	9	75	84	7月	0	97	97
8月	7	0	7	8月	0	0	0	8月	1	0	1
9月	13	0	13	9月	0	38	38	9月	50	38	88
10月	274	54	328	10月	330	144	474	10月	244	335	579
11月	111	247	358	11月	422	143	565	11月	126	145	271
12月	0	56	56	12月	160	65	225	12月	67	182	249
1月	0	37	37	1月	21	0	21	1月	30	0	30
2月	6	0	6	2月	21	43	64	2月	24	29	53
3月	0	0	0	3月	2	0	2	3月	14	0	14
合計	712	1,321	2,033	合計	1,029	1,122	2,151	合計	711	1,472	2,183

<月別利用学校数の推移>

令和4年度(2022)				令和5年度(2023)				令和6年度(2024)			
(学校数:のべ利用数)				(学校数:のべ利用数)				(学校数:のべ利用数)			
	中学校	小学校	合計		中学校	小学校	合計		中学校	小学校	合計
4月	1	0	1	4月	0	0	0	4月	1	1	2
5月	3	4	7	5月	4	3	7	5月	5	4	9
6月	5	11	16	6月	2	7	9	6月	2	8	10
7月	1	4	5	7月	1	3	4	7月	0	3	3
8月	2	0	2	8月	0	0	0	8月	1	0	1
9月	2	0	2	9月	0	3	3	9月	1	2	3
10月	10	3	13	10月	7	7	14	10月	7	8	15
11月	6	4	10	11月	7	7	14	11月	1	5	6
12月	0	1	1	12月	2	1	3	12月	1	3	4
1月	0	1	1	1月	1	0	1	1月	2	0	2
2月	1	0	1	2月	1	2	3	2月	1	1	2
3月	0	0	0	3月	1	0	1	3月	1	0	1
合計	31	28	59	合計	26	33	59	合計	23	35	58

市内外学校数に占める博物館利用校の割合(2024)



3 高校・大学等との連携

(1) 博物館実習の受け入れ

今年度は申し込みがなかったため実施しなかった。

(2) 講師の派遣

■福井工業高等専門学校 電気電子工学科 2年「歴史Ⅱ」の授業担当(通年)

講師 山田裕輝

■福井県立藤島高等学校 SSH「研究」にかかる助言・リサーチサポート

講師 山田裕輝

4 ボランティアとの連携

平成 16 年に発足した博物館ボランティアグループ「とねりの会」との連携により、博物館と来館者とをより円滑につなげていく活動を行っている。また博物館ボランティアの養成講座としてミュージアムカレッジを開講している。

(1) 博物館ボランティアグループ「とねりの会」

博物館の依頼により団体客への展示・養浩館庭園の解説等を行うほか、博物館との協同事業である「子ども博物館」の企画運営、会員の研鑽や親睦を図る研修会などを実施。

毎月第 3 日曜日「家庭の日」などに常設展示室・養浩館庭園に当番制で常駐し、来館・来園者に無料ガイドを行っている。

会員数 63 人(令和 6 年 4 月現在)

(2) らくらく子ども博物館の開催

夏・冬・春休みの期間などに、親子で楽しめる工作教室等をとねりの会とともに開催している。

・夏休みらくらく子ども博物館 7月27日(土)、28日(日) 参加者 計29人

・冬のらくらく子ども博物館 11月30日(土)、12月1日(日) 参加者 計86人

・春休みらくらく子ども博物館 令和7年3月22日(土)、23日(日) 参加者 計29人

(3) 「ミュージアムカレッジ」(博物館ボランティア養成講座)

歴史を学んで得た知識や感動を多くの人に伝えたいという市民を対象に、講座や実習などを組み合わせた学習プログラムを提供している。

① 令和 6 年度ミュージアムカレッジ基礎講座

1. 講義「養浩館庭園の歴史」

講師 藤川明宏

2. 講義「舎人門の復原」

講師 藤川明宏

3. 講義「ふくいの縄文・弥生・古墳時代」

講師 松村知也

- | | | |
|--------------------------|----|-------------|
| 4. 講義「奈良時代の越前と東大寺領荘園」 | 講師 | 中西健太 |
| 5. 講義「福井藩と福井城」 | 講師 | 印牧信明 |
| 6. 講義「松平春嶽をめぐる人々」 | 講師 | 山田裕輝 |
| 7. 講義「近代福井の発展と戦・震災」 | 講師 | 藤川明宏 |
| 8. 講義「博物館の教育普及事業とボランティア」 | 講師 | 松村知也 |
| 9. 実習「へんしん越前屋着付け体験」 | 講師 | 佐々木佳美 |
| 10. 実習「博物館の解説を体験してみよう」 | 講師 | 当館学芸員・とねりの会 |
| 11. 実習「養浩館庭園の解説を体験してみよう」 | 講師 | 当館学芸員・とねりの会 |
- 受講者 のべ 134 人 修了者 19 人

② 令和 6 年度ミュージアムカレッジ応用講座

1. 講座「古文書に親しむ」 講師 印牧信明
 - 第 1 回 6 月 23 日(日) 参加者 37 人
 - 第 2 回 12 月 14 日(土) 参加者 10 人
 - 第 3 回 令和 7 年 3 月 2 日(日) 参加者 34 人
2. 解説ハンドブック改善勉強会 講師 松村知也

令和 5 年度までの 7 回に続き、令和 6 年度は 3 回開催した。

 - 第 8 回 6 月 30 日(日) 参加者 14 人
 - 第 9 回 令和 7 年 1 月 25 日(土) 参加者 17 人
 - 第 10 回 令和 7 年 2 月 9 日(日) 参加者 20 人

Ⅲ 調査研究

1 研究紀要の刊行

研究紀要 第 25 号

論文 印牧信明「福井藩の借財と上方町人 -寛文期から宝永期の借用証文の検討を通して-」

論文 長野栄俊「侯爵松平康荘の生母について -芳野菅子と小出八重-」

2 調査

- | | |
|------|---|
| 松村知也 | ・刀剣(福井市内個人宅 寄託申出に伴う調査) |
| | ・刀剣(福井市内個人宅 未登録刀剣の発見に伴う調査) |
| | ・天神山 7 号墳出土胡籙 X 線 CT 分析(当館収蔵資料を朝倉氏遺跡博物館にて分析
天神山古墳群研究会との共同事業) |
| 藤川明宏 | ・木造聖徳太子像(福井市聖徳寺 遠忌法要に係る移動に伴う調査) |
| | ・石造阿弥陀如来坐像(福井市明里飢饉塚阿弥陀堂 堂舎解体に伴う調査) |

- ・絹本着色親鸞聖人像(あわら市明善寺 あわら市指定文化財指定に係る調査)
- ・絹本着色阿弥陀如来立像(福井市内某寺蔵 依頼に伴う調査)
- ・石造狛犬(坂井市三国町神明神社 依頼に伴う調査)
- ・福井城跡出土考古資料(福井市文化財保護センター 企画展準備調査)
- ・北庄城跡出土考古資料(福井県教育庁埋蔵文化財調査センター 特別展準備調査)
- 藤原千穂・架鷹図屏風ほか絵画(越前市個人宅 越前市文化財審議会にかかる調査)
- 佐々木佳美・重要文化財朝倉敏景像附属品調査(心月寺 企画展準備調査)
- ・親鸞筆六字名号(興行寺 企画展準備調査)
- ・重要文化財・水辺に雪持芦水鳥模様縫箔ほか能装束(林原美術館 特別展準備調査)
- 山田裕輝・橋本左内関係資料調査(福井県文書館、福井県立歴史博物館、福井市図書館、大阪大学適塾記念センター 特別展準備調査)
- 中西健太・重要文化財大音家文書のうち「御賀尾浦塩船盗難物注進状案」(福井県立若狭歴史博物館 特別展準備調査)
- ・片岡家文書のうち「(堀秀治町役免許状)」、松平文庫のうち「越藩拾遺録」、坪川家文書のうち「越藩拾遺録」、慶松家文書のうち「御判物記録」(福井県文書館 特別展準備調査)
- ・福井県指定文化財橋家文書、イエズス会日本年報、堀家文書のうち「木村重茲留守居・長谷川秀一留守居・堀秀重宛豊臣秀吉朱印状」(福井県立歴史博物館 特別展準備調査)
- 印牧信明・北庄(福井)城・九十九橋北詰常夜灯関係史料(福井県文書館 企画展準備調査)

3 研究成果等の発表

(1) 執筆

- 松村知也・小論「江戸時代大名家における自在置物の意味～越前松平家の場合～」特別展図録『鉄の名工越前明珍』2024.10 福井市立郷土歴史博物館
- ・小論「魚鱗具足の成立背景に関する考察」特別展図録『鉄の名工 越前明珍』2024.10 福井市立郷土歴史博物館
- ・小論「越前明珍について」特別展図録『鉄の名工 越前明珍』2024.10 福井市立郷土歴史博物館
- ・「自在置物」コラム「おいでよ」2024.11.10 日刊県民福井
- ・「越前松平家の魚鱗具足」コラム「謎多き鉄の名工 特別展「越前明珍」から」上 2024.11.6 福井新聞
- ・「甲冑師の技光る自在置物」コラム「謎多き鉄の名工 特別展「越前明珍」から」中 2024.11.13 福井新聞
- ・「受け継いだ技数々の名品」コラム「謎多き鉄の名工 特別展「越前明珍」から」下 2024.11.20 福井新聞
- 藤川明宏・「越前海岸の水仙畑～農家と若者が共に未来へ歩みだす～」『月刊 地図中心 622』2024.7.10 日本地図センター
- ・「ほとけの姿を読み解く」コラム「おいでよ」2024.9.15 日刊県民福井
- ・「チョコレートで銅鏡の鑄造体験を」コラム「おいでよ」2025.1.5 日刊県民福井
- 藤原千穂・「ガバメントクラウドファンディング「幕末の志士・橋本左内ゆかりの手紙を修理して展示したい！」による橋本左内関連資料の修理事業について」特別展図録『橋本左内と横井小楠』2024.7.20 福井市立郷土歴史博物館
- ・「橋本左内の書簡集 関心や交友多方面に」コラム「おいでよ」2024.7.21 日刊県民福井
- 佐々木佳美・「子どものきもの」コラム「おいでよ」2024.5.26 日刊県民福井

- ・「朝倉孝景・義景の肖像画」コラム「おいでよ」2024.6.23 日刊県民福井
- ・論文「京都国立博物館蔵「草花文段片身替繡箔小袖」の模様の再検討－縫箔小袖の季節性－」『服飾美学』第71号、2025.3
- ・論文「朝倉半次寄贈・伝朝倉半蔵所用小桜小紋小袖と白地松竹梅模様振袖」『長崎巖先生退官記念論集』2025.3
- 山田裕輝
 - ・小論「嘉永～安政期における三國幽眠と福井藩」総合展示図録『三國幽眠－勤王漢学者と京都』2024.4.13 京都文化博物館
 - ・「回顧と展望 二〇二三年の歴史学界」（日本史－近現代－二 幕末・維新）『史学雑誌』第133編第5号 2024.5.20 史学会
 - ・小論「公益財団法人石水博物館蔵「越前関係文書」所収の橋本左内書簡について」特別展図録『橋本左内と横井小楠』2024.7.20 福井市立郷土歴史博物館
 - ・「熊本留学夢見た左内」コラム「書簡が語る左内と小楠 上」2024.7.31 福井新聞
 - ・「臣下の道説く小楠」コラム「書簡が語る左内と小楠 中」2024.8.7 福井新聞
 - ・「二人信じた「賢侯」春嶽」コラム「書簡が語る左内と小楠 下」2024.8.14 福井新聞
 - ・「龍馬 福井藩と信頼築く」コラム「おいでよ」2024.8.18 日刊県民福井
 - ・「積極的な慰問行った節子」コラム「おいでよ」2024.12.8 日刊県民福井
 - ・「天然痘の予防法「種痘」広めた笠原良策」コラム「おいでよ」2025.2.2 日刊県民福井
 - ・小論「藤野升八郎宛橋本綱維書簡について」西川哲矢編『三人の藤野先生、その生涯と交流』2025.3.23 大阪大学出版会
- 中西健太
 - ・「天下人の子、名族の継承者」コラム「越前百万石ものがたり～福井藩祖 結城秀康～ 上」2024.4.3 福井新聞
 - ・「越前国 68 万石の大大名」コラム「越前百万石ものがたり～福井藩祖 結城秀康～中」2024.4.10 福井新聞
 - ・『越前家』は親藩の名門」コラム「越前百万石ものがたり～福井藩祖 結城秀康～下」2024.4.17 福井新聞
 - ・『松平』有力大名 名乗る」コラム「おいでよ」2025.3.2 日刊県民福井
- 印牧信明
 - ・小論「三國幽眠の生家「三國家」について」総合展示図録『三國幽眠－勤王漢学者と京都』 2024.4.13 京都文化博物館
 - ・「半石半木の奇橋「九十九橋」」コラム「おいでよ」2024.10.13 日刊県民福井
 - ・小論「北庄と福井の城郭と町の形成について」松平家史料展示室企画展「城下町 福井と九十九橋」展示解説シートNo.173 2025.10.19 福井市立郷土歴史博物館

(2) 講演等

- 松村知也
 - ・中藤公民館歴史講座「中藤島地区の地名と歴史」 2024.11.10
- 藤川明宏
 - ・講演会「近代における福井城跡の変遷」ふくい技術士交流会 2024.7.27
 - ・講座・まち歩き「舟橋町の歴史を知ろう！」舟橋町自治会 2024.10.13
 - ・福井学基礎講座「福井の仏像」福井市中央公民館 2024.10.19
 - ・講座・まち歩き「浜町の歴史を知ろう！」まちづくり福井 2024.11.9
 - ・えちぜん市民大学講演会「越前五山～文殊山の信仰と仏像～」越前市生涯学習センター 2024.12.21
 - ・研修会「銅鏡チョコ作りで鑄造体験－文化財を楽しむ方法」熊本県立美術館 2025.2.12
 - ・えちぜん市民大学講演会「越前五山～日野山の信仰と仏像～」越前市生涯学習センター 2025.2.22
 - ・シンポジウム「博物館の力～昨今の動向と未来への展望～」坂井市龍翔博物館 2025.3.20
- 藤原千穂
 - ・サイエンスカフェ「月と日本文化」セーレンプラネット 2024.9.1
- 佐々木佳美
 - ・中秋の名月観望会「月と日本人～月見の歴史～」セーレンプラネット 2024.9.17

- ・口頭発表「室町時代中後期の武家女性の四季の衣装－伊勢家伝来故実書『女房故実』の記述を基に－」令和6年度服飾美学会第2回研究会、2024.10.27
- 山田裕輝 ・講演会「横井小楠の思想と実践」福井市立郷土歴史博物館ボランティアとねりの会第21回定期総会 2024.5.19
- ・橋本左内先生を偲ぶ会講演会「新発見の書簡からみる適塾在学期の橋本左内」福井市足羽公民館 2024.10.6
- ・宝永歴史研究会例会「横井小楠の思想と実践」福井市宝永公民館 2024.10.24
- ・講演会「熊谷太郎市長と福井の戦後復興」福井市文書法制課 2025.3.9
- 中西健太 ・「特別展 天下人の子－結城秀康と一族・家臣－」トークイベント「結城秀康を再考する」福井県立歴史博物館 2024.8.3
- ・「専門家が深掘り！北陸歴史探訪講座～北陸新幹線開通でゆく歴史再発見」のうち講座「福井藩祖・結城秀康～北国の親藩の誕生と一族の広がり～」富山新聞社 2024.9.14
- ・「越前若狭お城フェス2024」トークセッション 「ふくい城巡りプロジェクト」実行委員会 2024.10.13

4 専門的知見の提供

- 松村知也 ・福井県立歴史博物館特別展「天下人の子 結城秀康と一族・家臣」に係る刀剣借用・展示指導 令和6年2月～8月
- 藤川明宏 ・あわら市文化財保護委員会委員(令和6年4月1日～令和8年3月31日)
委員会出席 5月30日、令和7年3月4日
- ・県指定文化財木造聖徳太子像の遠忌法要に伴う遷座指導・実施 4月19日、24日
- ・令和6年能登半島地震被災文化財等救援活動 6月10日～14日
- ・SAVE JAPAN プロジェクト(主催：さばえNPOサポート、環境文化研究所) 重要文化的景観「越前海岸の水仙畑」での石積み修復体験の指導・実施 4月～7月
- ・福井市「浜町」に関する書籍刊行に係る助言・調査協力 7月～令和7年3月
- 藤原千穂 ・坂井市文化財保護審議会委員(令和6年4月1日～令和8年3月31日)
委員会出席 5月28日、10月24日、令和7年2月10日
- ・越前市文化財保護委員会委員(令和6年1月31日～令和8年1月30日)
委員会出席 7月29日、令和7年3月13日
- 佐々木佳美 ・坂井市龍翔博物館所蔵染織資料の複製制作に係る助言 9月3日
- ・南越前町右近家婚礼資料展示に係る助言 9月12日

IV 資料の保存・活用

1 資料の収集(寄贈・寄託)

令和6年度は、寄贈申出11件、寄託申出4件があり、令和7年3月11日開催の資料審査委員会にて審議した結果、全件受け入れが承認された。

(1) 寄贈資料

No.	資料名	件数	概要	寄贈者
1	松平春嶽筆「栄華難久居」云々の書幅	1件	明治17年7月の年記がある松平春嶽筆の五言絶句。	坂井市 八杉典子
2	昭和8年九十九橋架換工事関係写真 74枚	1件	昭和8年の陸軍特別大演習に際して実施された九十九橋架換工事に関する写真(紙焼き)。	福井市 西山力好
3	松平春嶽書幅 1幅 松平春嶽書扇 1面	2件	旧福井藩士山岡慇(六郎右衛門)の所用品。いずれも松平春嶽から贈られたもの。	愛知県 山岡紀春
4	廣如筆 六字名号 1幅 最勝講御章 1巻 最勝講覚 2冊 下六条町最勝講関係書類 一式	4件	福井市下六条町の浄土真宗本願寺派門徒女性で組織する最勝講(お西の東)が代々所持した最勝講関係資料。	福井市 下六条町 最勝講 (お西の東)
5	三国(森)家資料 55点	32件	江戸後期から幕末期に福井藩御用商人として活躍した三国湊の豪商三国(森)家の関係資料。	石川県 蔵本 亨
6	昭和19年版 敵機一覧 1冊 防空参考 敵米機の識別 1冊	2件	太平洋戦争中の空襲対策のために出版・配布された冊子類。	あわら市 相川セイ
7	感謝状(国防資材の献納につき) 1枚	1件	昭和17年12月付の陸軍大臣東条英機名義の感謝状。	福井市 山口正次
8	袋槍 銘 源正俊 1口 厘秤 1具	2件	旧福井藩士土屋十郎右衛門家伝来資料。	兵庫県 土屋眞木子
9	最勝講御章 1巻	1件	福井市下六条町の浄土真宗本願寺派門徒女性で組織する最勝講(お西の西)が代々所持した最勝講関係資料。	福井市 下六条町 最勝講 (お西の西)

10	能勢家資料 144点	28件	旧福井藩士能勢家に伝来した資料群のうち、道具や写真などの資料。	京都府 金築芳之
11	福島家資料 15点	14件	安政期の将軍継嗣問題で福井藩に協力し、安政の大獄で処罰された鷹司家儒者・三國幽眠の関連資料。	大阪府 星加悠子

(2) 寄託資料

No.	資料名	件数	概要
1	旧福井藩主松平家伝来資料(絵画・道具等)	82件	越前松平家に譲られた高松宮妃遺物及び松平綾子手沢品を中心とした大正・昭和期の松平家伝来資料。
2	半井仲庵宛橋本左内漢詩・書簡1幅	1件	安政5年12月の作。半井から依頼された「貴人」の文章の添削に対する回答。
3	刀剣資料	12件	戦国大名朝倉氏旧臣の家系であり、代々福井藩医として仕えた旧家の刀剣資料。
4	旧福井藩主松平家伝来資料(文書・記録等)	398件	旧福井藩主松平家に伝来した明治期を中心とする文書・記録など未整理資料。

2 資料の修理等

(1) 修理等

資料名	数量	内容	委託先
女性肖像画 波々伯部捨四郎筆	1幅	修繕	石川県文化財保存修復協会

(2) 複製制作

資料名	数量	内容	委託先
熊谷太三郎筆「予記帳」	2冊	デジタル撮影・複製制作	富士フィルム BI 福井(株)

熊谷太三郎筆「予記帳」

戦後復興期の福井市長として復興事業の陣頭指揮をとった熊谷太三郎の日記・メモ(全11冊)。常設展示室にて原本を展示してきたが、照明による劣化等が危惧されることから、複製を制作した。実際に手に取って鑑賞できる「触れるレプリカ」としても活用する予定。

(3) 資料のデジタルアーカイブ

資料名	数量	内容	公開先
景岳先生(橋本左内)書翰帖	2冊 86点	目録情報 ・資料画像	福井県文書館 「デジタルアーカイブ福井」

3 展示環境維持

(1) 第2収蔵庫空調室内機入替工事

第2収蔵庫空調室内機及び周辺機器(加湿器等)を現行機と同性能をもつ後継機への入れ替え工事を実施した。

(2) 公開承認施設の更新

令和6年12月6日付で文化庁より重要文化財の公開承認施設の4回目の承認(更新)を受けた。

4 資料の特別利用

当館で保管する資料を、撮影、模写、模造、熟覧もしくは写真の使用を行おうとする個人・団体に対して、教育・学術・報道・その他郷土福井の歴史と文化の普及を目的とするものに限り、無償で協力している。

令和6年度 特別利用内訳表(件数)

撮影	模写・実測	熟覧	写真掲載	館外貸出
27	5	22	171	3

館外貸出の実績(展覧会への出展協力)

■福井県立若狭歴史博物館

特別展「小浜藩医 杉田玄白の挑戦－『解体新書』出版 250 年－」
キュンストレーキ男体像・女体像 計 2 件

■福井県立歴史博物館

特別展「天下人の子」結城秀康と一族・家臣
6月1日付徳川秀忠書状1点(越葵文庫)ほか 計 8 件

■福井県立美術館

テーマ展「ワンダー☆浮世☆ランド」
菱川師福筆 馬威図屏風 六曲一双ほか 計 3 件

V 利用状況

令和6年度入館者集計

月別	有料観覧者 (平常展示)		有料観覧者 (特別展)		友の会 優待観 覧券	ボラン ティア	中学生 以下	70歳 以上	障害者	学校 団体	減免	無料 公開	教育普 及事業	総計
	個人	団体	個人	団体										
4	610	0	2,691	0	77	154	145	1,333	338	21	141	179	8,343	14,032
5	1,037	0	1,248	0	44	85	123	838	149	235	91	85	5,204	9,139
6	942	66	0	0	33	60	52	474	61	375	30	108	1,819	4,020
7	844	53	239	20	34	216	159	397	80	33	140	88	3,199	5,502
8	754	0	959	0	52	226	214	577	183	2	179	123	5,522	8,791
9	1,327	24	66	0	29	106	71	649	116	39	45	102	2,257	4,831
10	1,128	0	376	0	48	154	83	827	103	564	97	102	4,284	7,766
11	1,064	149	1,108	0	55	276	102	1,785	273	154	172	460	6,774	12,372
12	615	26	62	0	26	66	46	294	50	184	21	84	1,320	2,794
1	571	0	0	0	23	54	40	256	45	0	85	82	885	2,041
2	843	0	0	0	28	77	54	298	32	28	84	133	1,047	2,624
3	1,319	0	0	0	34	55	120	520	79	16	60	128	1,706	4,037
合計	11,054	318	6,749	20	483	1,529	1,209	8,248	1,509	1,651	1,145	1,674	42,360	77,949

※有料観覧者数(平常展示)は、単館券、共通券、その他の割引券など

※減免等は、免除申請、マスコミ取材、招待券利用など

※無料公開は、「家庭の日」「文化の日」「ふるさとの日」「関西文化の日」「養浩館庭園ライトアップ」

※教育普及事業は、企画展関連展示、講座・講演会、ワークショップ、子ども博物館、へんしん越前屋など

友の会入会者数

区分	人数
一般	99
大・高校生	2

施設利用数(当館の主催事業を含む)

区分	件数
講堂	106
企画展示室	4

VI 組 織

博物館運営協議会委員(五十音順)

合川 由美	元足羽小学校教頭
井上 満枝	福井市子ども会育成連合会副会長
佐藤 圭	元福井県教育庁埋蔵文化財調査センター所長
下川 勇	福井工業大学工学部建築土木工学科教授
杉田 晃一	元福井県立大学参与
瀧澤 徹	郷土歴史博物館ボランティア「とねりの会」代表
東村 純子	福井大学国際地域学部准教授
柳沢 芙美子	元福井県文書館副館長

博物館職員

名誉館長	松平 宗紀
館 長	中川 伸一
課長補佐	松村 知也(学芸員・考古学)

【学芸係】

主 幹(係長)	藤川 明宏(学芸員・考古学)
副主幹	藤原 千穂(学芸員・美術史)
副主幹	佐々木 佳美(学芸員・美術史)
主 査	山田 裕輝(学芸員・文献史学)
学芸員	中西 健太(学芸員・文献史学)
学芸員	印牧 信明(学芸員・文献史学)(再任用職員)

【企画係】

主 幹(係長) (兼)	藤川 明宏
副主幹(兼)	佐々木 佳美
副主幹	毛利 由希恵(庶務)
主 事	鈴木 幸恵

令和6年度 年報

発行日 令和7年7月31日
発行者 福井市立郷土歴史博物館